

千葉市における学校薬剤師活動報告

千葉県学校薬剤師会
常任委員 杉谷宏枝

令和2年12月に行われました千葉市の学校薬剤師活動の一つをご報告いたします。

千葉市には小学校110校、中学校55校、特別支援学校3校があり、千葉県学校薬剤師会の会員である118名の学校薬剤師が参加しております。千葉県学校薬剤師会の組織の一つに学薬委員会があります。教育委員会と連携し学校薬剤師が検査・実験等を円滑に行い指導助言できるように活動しております。

「令和2年度 薬剤師さんによる薬の正しい使い方教室」を行いました。これは千葉県学校保健会による「子どもの健康を守る専門家派遣事業」の一環として行われております。今年度は令和2年12月2日(水) 千葉市立都賀中学校4クラス、12月21日(月) 千葉市立大椎中学校4クラスで実施致しました。新型コロナウイルスによる感染対策のためマスク着用で50分間話すことは今までにない経験でしたので、話す側、聴く側ともに負担があったのではないかと感じました。都賀中学校は担当学校薬剤師を含め5名、大椎中学校は4名で行いました。スライドの内容は薬の役割や種類、正しい薬の飲み方や使い方、副作用、ドーピング等についてです。薬の飲み合わせについてはコーラと胃薬、イソジンうがい薬とビタミンC、鉄剤と緑茶等の実験も組み入れ、大変好評でした。生徒さんからは「実験などを通してお薬は水で飲むことが大切だとわかった」「薬の量を自己判断で増やしてはいけないことがわかった」「薬は正しく使って健康で丈夫な体を作っていきたい」等の声をいただきました。また参加した担当学校薬剤師、学薬委員からは次のようなコメントをいただいております。

担当学校薬剤師：今回初めてお薬教室に参加しました。薬剤師会で用意していただいた資料や学薬委

員の協力のもと無事に終わることができました。

学薬委員 A：実験にも積極的に参加してくれ、大変落ち着いた様子で熱心に話を聞いてくれました。イソジンとビタミンCの実験を通して、薬は使い方によって変化することを印象付けることができましたと思います。

学薬委員 B：とても静かに聞いてくれて授業がしやすかったです。私たちの質問に対してもよく答えてくれました。鉄剤と緑茶の実験では「何これ?!気持ち悪い」と素直に感動してくれて嬉しかったです。

学薬委員 C：学校薬剤師として検査等で学校に行きますが、生徒との接点は少ないです。今回のお薬教室では生徒たちの素直な反応が直に感じられとても楽しかったです。さらに薬や健康などに関心を持ってもらえると嬉しいです。

学薬委員会ではお薬教室のスライドや実験道具、備品などを用意しております。学校薬剤師の先生方にはそれらを利用し積極的にお薬教室を開催していただきたいと思っております。



「薬の正しい使い方教室」の様子